

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 6月号

「鶴嶺ふるさと学習」



「萩園橋」から小出川の風景を眺める（写真の方向は下流）
河原や土手には、様々な種類の植物が繁殖し、昆虫や鳥などの多くの生き物のすみかとなっています。昔ながらの原風景が残っています。

5月8日 🦋 3年生 小出川探検

今日は朝から良い天気です。皐月のさわやかな風が心地よく吹いています。私たちのふるさと鶴嶺は、一年中でも最も過ごしやすい季節です。

その良い日に、3年生の小出川探検を実施することができました。社会教育課の岸さんをはじめ、9名のボランティアの皆さんに、探検をしながら説明をいただきました。虫や鳥、そして草の名前を知り、虫の生態や植物の繁殖についても教えていただきました。

わたしたちが暮らしている「ふるさと」に、こんなにいっぱい生き物がいることに、3年生の児童の皆さんはビックリしました。

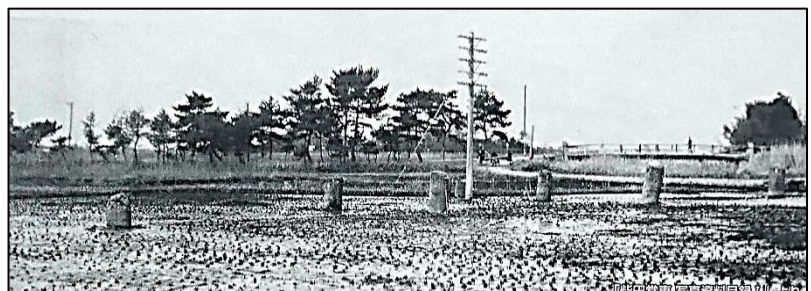
地域には、まだまだ知らないことが、いっぱい隠れています。これからも、自分で「発見」する学びを広げていきたいと思います。多くの保護者の皆様のご参加、ありがとうございました。

昨年度の実践から。。。 6年生 相模川橋脚と文化

1923年9月2日撮影の写真



社会教育課の大村さんから学ぶ
茅ヶ崎の史跡の専門家をお招きしてお話をお聞きました。文化財を大切に保護していくことの意味と取組の大切さを学びました。



一枚の写真から学習は始まりました。これは、大正12年に起こった関東大震災の翌日の写真です。田んぼに突如現れた「太い杭」。これが昔の相模川橋脚であることを知りました。今から800年前の鶴嶺のまちには、太い川が流れていたのです。これからも鶴嶺のふるさとについて学びを広げましょう。

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
平成29年5月31日発行 Vol. 29-6
校長 橋本 和男

★伸びゆくチャレンジ4

「ふるさと」にある学習の材料を 生かした活動の展開

3年生のみなさん、おはようございます。

今日は、皆さんと一緒に「小出川」に探検にかけます。川の土手には、みどりがいっぱいあって、たくさんの生き物がいます。不思議なのは、生き物によって、住んでいる場所が違ってきます。また、えさも草を食べる虫がいたり、虫を食べる生き物がいたりします。

今日の探検は、「観察（かんさつ）」することを大切にします。観察といっても目で見るだけでなく、生き物を実際にさわったり、耳を使って聞いたり、鼻でにおいをかいだり、自分の持っている感覚をいっぱい使っていきましょう。

心と体で、たくさん発見ができる探検にしましょう。（社会教育課 岸一弘さんの話）

